



この構造は、日常使用する設備と病室との距離が短くなるため転倒などの危険回避になると同時に、個室が多い中で、クラス единицаのつながりを自然に持つことができ、仲間、ファミリーとしての感覚を育んでくれます。また、病棟内のデイルームは、食事や交流の場となり、随所にある談話コーナーと併せてベッドから離れる環境を提供しています。

周辺症状に対する対応では、まずスタッフで対応の工夫や環境の調整を行っていきます。経過をみて、症状が特に強い時、睡眠時間がなかなか定まらない時には、専門医の判断で、少量の安定剤などを処方することがあります。薬を補助的に上手に使いいこなすことで、より早い改善をもたらすことは多くあります。

症状が落ち着くと、午前と午後の2時間ずつ担当作業療法士によるさまざまな生活機能回復訓練が行われます。音楽療法、回想法、レクリエーション、読

ケアにあたるスタッフは、病院内で完結してしまうケアの危うさを自戒し、自身の人間観を省みながら、毎日新鮮な五感をもつて患者さまと接するように心がけています。

認知症になると、本人は何もわからなくなるのだから幸せ—という誤解に長い間さらされていました。しかし、今私たちは患者さまの痛みや葛藤を受け止めながら、治療とケアに真剣に向き合っていきます。

フリーダイヤルがスタート!

入院相談専用コール

0120-21-6878

当院ソーシャルワーカーが親身に相談に応じます。
どうぞお気軽にご連絡ください。

基本方針

- さっぽろ香雪病院は、患者さまの人権を尊重するとともに、ご家族、並びに地域の皆様に安心してご利用いただける医療サービスを提供し、高度な知識と技術の習得に努め、良質な医療の実践をめざします。

いま認知症ケアに対する見方が変わりつつあります。認知症高齢者グループホームが近年急増し、そこでの効果を背景に地域生活指向が促されました。高齢者施設でも小規模のユニットケアが段階的に行われ、介護の方法論を公的に標準化する試みがなされています。

当院は、認知症病棟を設けていますが、認知症の方々にとって精神科病院が果たす役割はいったい何か…。これは、ニアと向き合う際に、私たち自身に向けて常に問いかけてている命題でもあるのです。今回はその答えを探すため、当院における認知症ケアの一端を紹介いたします。

られる「もの盗られ妄想」の場合。自分の置いたところを忘れ
CT、MRIで脳の萎縮などが

ます。認知症では症状の出現と

認知症の理解

られる「もの盗られ妄想」の場合。自分の置いたところを忘れて「ないない」と訴えることは中核症状であり、それが誰かに盗られたと根拠がないのに確信し（周辺症状）周囲に暴力をふるう、あるいは逆に不安が強く抑うつになる行動につながっていきます。このような妄想に至る人、至らない人、妄想内容の違いは、その人特有の事情があり、背景に過去の物語があるのです。この物語と向き合い、いたわりをもつて接することで周辺症状はかなりの部分が改善されます。

当院でも以上の共通認識を持ち、患者さまの不安や心の痛みに寄り添うケアを日々行っています。

| 午前 | | 第2病棟 一日の流れ |
|----|--|--------------|
| | | 起床 / モーニングケア |
| | | 朝食、服薬 |
| | | 検温 |
| | | ラジオ体操 |
| | | 入浴 |
| | | 生活機能回復訓練 |

| 第2病棟 一日の流れ | |
|------------|--------------|
| | 起床 / モーニングケア |
| 午前 | 朝食、服薬 |
| | 検温 |
| 前 | ラジオ体操 |
| | 入浴 |
| | 生活機能回復訓練 |
| | 昼食、服薬 |
| | 生活機能回復訓練 |
| | 入浴 |
| 午後 | 茶話会 |
| | 夕食、服薬 |
| | 洗面、歯磨き、更衣 |
| | 消灯 |

●人間関係を育む空間

*次回は、認知症の診断、心理検査
作業療法をお届けいたします。

看護部 理念

- 豊かな心と感性をもち、
人間尊重に基づいた
質の高い看護を提供します。

基本理念

- わたしたちは 深い愛と思いやりの心で 潤いのある医療を大切にします。
 - わたしたちは チーム医療を実践し、より専門性を究め 良質で適正な医療を提供します。
 - わたしたちは 社会の平和を願い奉仕の精神で 地域社会に開かれた病院づくりをめざします。